

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する

連結経常利益
1000億円以上連結経常利益
1300億円以上ROE
13%程度6か年投資額
4000億円

② 中長期の経営戦略

1. 建設関連事業の拡大

生産体制の構築、施工領域拡大、修繕・メンテナンス工事業の拡充を推進

3. 管理運営事業の成長

新たな管理手法開発、DX推進による業務改革、シニア向けサービス拡充

2. 不動産事業の質的向上

資本効率向上、商品開発力による差別化、新領域への拡大と挑戦

4. 海外事業の収益化

国内マーケット縮小に備え、各国の住宅事情に合わせた進出を検討

③ 対処すべき課題

① 建設業界の構造的課題

- ・ 資材・労務費の高騰に対応
- ・ 働き方改革への対応と時間外労働の上限規制への対応
- ・ 建設技能労働者や設備業者の減少・後継者不足への対策

② 脱炭素への対応

- ・ 2023年5月に建設現場の使用電力100%再生可能エネルギー化を実現
- ・ 2025年末にはグループ全ての建設現場の再生可能エネルギー化を予定
- ・ 低炭素施工や脱炭素住宅の拡大に取り組み

③ 人的資本と多様性への対応

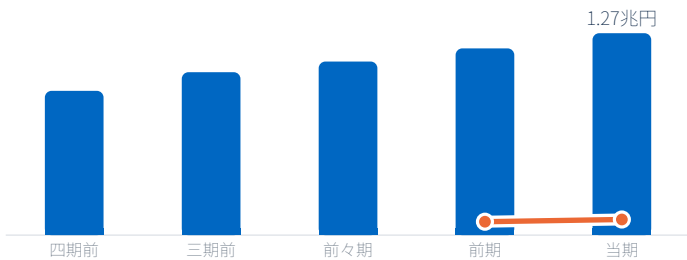
- ・ 2023年4月にD&I推進室を立ち上げ、個性活躍をキーワードに環境整備
- ・ 2022年1月に長谷工グループ人権方針を策定し、サプライチェーンも含めた人権デュー・ディリジェンスを実施
- ・ 物価上昇を上回る賃金アップを念頭にした処遇改善を実施

面接で使えるポイント

- ・ 2025年3月期の連結経常利益834億円を達成し、中期経営計画NS計画で5期合計経常利益4000億円達成
- ・ 2023年5月に建設現場の使用電力100%再生可能エネルギー化を実現し、脱炭素社会への具体的な貢献
- ・ 2026～2031年度の新中期経営計画で2031年3月期の連結経常利益1300億円以上を目指す成長戦略

証券コード 1808

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.27兆円営業利益率
7.8%財務健康度
41点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 65.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,040万円

建設業内 19位/140社

平均年齢
39.4歳

建設業内 130位/140社

平均勤続
14.7年

建設業内 90位/140社

女性管理職
5.2%

建設業内 25位/112社

男性育休
82.8%

建設業内 47位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 公民連携プラットフォーム「KYOTO CITY OPEN L

